

## 令和3年度第2回能勢町介護保険事業運営委員会

### (書面開催)に関するご意見等(集計)

#### 1. 介護保険事業の実施状況について

##### (1) 介護保険事業実施状況について

No.	意見・質問	能勢町回答
1	2ページから6ページの表中、令和3年度からいきなり令和7年度が表示されている表がある。これは、令和4年の運営計画でもあることから、まず令和4年度の数値が求められると思うが如何でしょうか。	2~6ページ中、人口及び高齢化率については、中長期的な推計の視点も踏まえ表しましたが、ご指摘のとおり令和4年度あるいは第8期計画の事業実施状況であることから、令和4年度、令和5年度の数値を示すよう訂正します。別添の正誤表をご参照ください。
2	いつも丁寧な詳細資料ありがとうございます。第2号被保険者数と数の推移を教えてください。	H30年度末15人、R元年度末13人、R2年度末16人、R4年1月末時点13人でおおよそ13~16人程度で推移しています。
3	能勢町の高齢化率は全国大阪府に比べて高い。(2ページ)令和7年から人口も急激に下がる。(5ページ)生産年齢人口と高齢者数をみると高齢者人口の方が多い。財政は大丈夫?	人口の問題は町全体の課題として能勢町総合計画において、各分野で、持続可能なまちづくりを理念として住民の暮らしを支えるための方向性を示しているところです。財政面についても、福祉・産業・農業などバランスをとりながら取組を進めるべきと考えています。
4	(5ページ)生産年齢人口と高齢者数。生産年齢人口2000人に対して高齢者数3000人、財政は大丈夫なのか。財政が破綻すれば介護どころではない。具体的に何をしたいのか案はないが切り詰めた財政も考えないといけないと思います。	前述のとおり、介護保険事業の他、各分野で連携しつつ能勢町政の運営を進めていく必要があると考えます。

(2) 見える化システムを用いた地域分析について

No.	意見・質問	能勢町回答
1	3 ページ「人口及び高齢化率」表中、横軸「年数」が不明確である。	表の年数表示が不明確なので訂正します。また、表左に（人）のみ表示されている箇所が脱字となっており、「前期高齢者数」、「後期高齢者数」の文言を表示するよう併せて訂正します。別添の正誤表をご参照ください。
2	19、20 ページ「訪問介護」、21、22 ページ「訪問看護」について。いずれも 2021 年は 2015 年に比べて 2.5 倍、1.5 倍と大きく伸びているが、15 ページの居住系サービスは低くなっており、町内に該当サービスがないことがその理由となっている。在宅で訪問介護や訪問看護が増加しているのは、居住系サービスを受けたくても施設等がなく、限界まで在宅でサービスを受けざるを得ないのか。また、元より在宅を選択する現れなのか、これらの分析は如何でしょうか。	詳細の分析はできていませんが、在宅での生活を希望されて訪問系サービスの利用が増えていることも利用日数・回数が増加している要因のひとつと認識しています。特に訪問介護は、サービス付き高齢者向け住宅など住まいの環境が多様化し、必要なサービスとして利用が増えているものと思われます。訪問看護は、在宅介護の現場で利用される医療系サービスとしてニーズが増えているかと考えます。
3	23、24 ページの「通所介護」でも同様に、2021 年は 2015 年に比べて 1.3 倍増加している。この増加や今後の増加を見込む場合、利用したいが町内の施設等サービスの現状では、通所サービスを受けたくても利用できない「介護難民」が発生する心配が考えられるが、その対処は如何でしょうか。	通所介護も増加傾向にあり、今後も町内のほか川西市や猪名川町、亀岡市などの近隣市町の事業所も含めた広域的なサービスの連携体制を整える必要があります。
4	6 ページの高齢化率は（令和 3 年）豊能町の方が若干多い。16 ページの在宅サービスは能勢町の方が明らかに高い。また利用は支援 1,2 介護 1 で 50%以上である。18 ページの給付月額も豊能町に比べて高い。在宅サービスを過剰に推進している？	能勢町について、在宅サービスでは、特に訪問介護・通所介護・通所リハビリ・訪問看護・居宅療養管理指導の給付が計画値に比して大きい傾向にあり、居宅療養管理指導が計画値を超過している状況です。できる限り住み慣れた地域で暮らせるような体制が求められていると考えられます。
5	22 ページの受給者 1 人あたりの訪問看護の回数が平成 27 年と令和 3 年を比べると大阪府全国的にもほぼ変わらないが能勢町のみ 1.5 倍になっている。過剰になっている？	前記回答同様、訪問看護も計画値に比して伸びを続けており、今後も、在宅医療系のサービスの需要は高まる可能性が高いと考えています。

2. 令和3年度地域包括支援センターの運営状況及び令和4年度運営計画について

No.	意見・質問	能勢町回答
1	冒頭の地域支援事業の達成状況の表において、それぞれの表に2年度実績があれば、より比較できるのではないのでしょうか。	3年度実績が出ましたら、2年度実績と比較した表をお示ししたいと思います。
2	3ページ「一般介護予防事業」において、令和4年度予算が前年度より20%減少している。介護予防事業は、元気な高齢者をめざす為に重要だと思えます。なぜ、減額となったのか訊きます。また、ここでは「のせけん」事業の記述があればと思いますが、如何でしょうか。	「一般介護予防事業」の令和4年度予算につきましては、いきいき百歳体操交流大会の必要経費など、事業費は前年度比で約4万円の増となっておりますが、地域支援事業費は、事業費のほか、人件費も支出しており、この人件費が前年度から減少しています。人件費の予算は、人事担当と調整の上、各事業に配分することになっており、4年度は本事業への配分が低くなったため、前年度比で減少する予算計上となりました。また、のせけん事業については、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施として進めているところです。
3	包括支援センター運営状況4ページ「令和4年度(第5回大会)予定」の第5回は第6回ではないのでしょうか。	令和3年度の第5回は中止になりましたので、令和4年度は引き続き第5回で開催予定です。
4	12ページ「認知症総合支援事業」において、令和4年度予算は前年度より30%増加しているが、増加した事業とその理由について訊きます。	2.で回答した「一般介護予防事業」の人件費の減少分が、4年度の「認知症総合支援事業」に配分された結果、前年度比で増加する予算計上となりました。事業費で見ると、講師謝礼等の見直しに伴い、約6万円の減となります。
5	14ページ「認知症の当人及び家族ケア」の6行目、令和2年度は令和3年度ではないのでしょうか。	ご指摘のとおりです。令和3年度に訂正いたします。お手数ですが、資料中、訂正をお願い致します。
6	18ページ「介護保険事業所連絡会への参画」において、コロナにより連絡会が中止となるとあるが、書面やオンライン開催の対応を取られたのか訊きます。	書面での開催は行っておりませんが、zoomを利用したweb開催を2回行っております。

7	<p>「地域包括支援センターは、～～目的としている」の中で、<b>高齢者が</b>は、必ず必要でしょうか？地域包括支援センターは、聞かれたみんなが気軽に相談できる所であって欲しいと個人的に思っています。言葉、文言ひとつかもしれないですが、地域包括支援センターの対象となる方は、第1号、第2号被保険者（特にここが大事だと思っています。少数で声が届きにくいからです。）、それを支える家族や支援者、各事業所等、そして認知症になるのは、高齢者のみではないし、見守りや自立支援が必要なのは高齢者のみではない。また、虐待も高齢だけではない。つまり、地域住民とそれにかかわるすべての方々を包括的に支援していくことを目的にして欲しいと願っています。</p>	<p>地域包括支援センターは、法律で定められた65歳以上の高齢者を対象にした機関になります。地域包括支援センターが誰にも開かれた、気軽に相談できる所であって欲しい思いは真摯に受け止めさせていただきます。能勢町には、福祉担当に総合相談窓口があり、また社会福祉協議会は年齢に関係なく相談窓口を設置することになっています。どこに相談しても、同じような質の高い支援が受けられるよう、関係機関が連携して問題解決に努めていきたいと思えます。</p>
8	<p>包括的支援事業→予算が必要。ほしい。多職種連携→×残念です。是非実現させて欲しい。必要だと思います。あと地域フォーラムなど、能勢町の在宅医療を身近に感じてもらうようここまで取り組んでいます。講演やACP（人生会議）地域住民を対象としたフォーラムなど、必要。2040年多死社会、在宅死もどんどん増える。在宅で最期を迎えざるをえない時代。地域全体を巻き込んだ、複合的な連携支えあいがあれば、能勢町で自分らしく暮らせる可能性がみえてくる。</p>	<p>地域包括ケアシステムの推進に向けて、多職種連携は大変重要だと感じております。コロナ禍において講演会等は中止を余儀なくされていますが、住民の皆様が充実した生活を最期まで自宅で過ごすことができるよう取り組んでいきたいと思えます。</p>
9	<p>いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操、シャキシャキ百歳体操、のせけんは健康・健康維持の意識を非常に高めていて効果的だと思います。いろいろなアイデアを出して頑張ってください。あまりお金をかからないですし。</p>	<p>参加者や住民の方々のご意見を聞きながら、今後も健康意識の高い町づくりにつながるよう努めていきたいと思えます。</p>

### 3. その他

No.	意見・質問	能勢町回答
1	カラー刷りで資料が見やすかったです。	必要に応じてカラー印刷を利用するなど見やすい資料作りに努めていきます。
2	ミクロの数字はわかりやすかったです。マクロな地域全体の共生社会や長期的なことが資料にもう少しあってもいいと思いました。	地域共生社会の内容や能勢町の実情なども踏まえ、認識を深めやすいデータ収集を行い、参考資料としても活用していきたいと思います。
3	小規模多機能型居宅介護の予定。今まで公募しても応募がなかった。つまり採算が合わない。なぜ推進するのか。財政は大丈夫？	これまで小規模多機能型居宅介護事業所の公募は行っておりませんが、利用者のニーズに応じたサービス提供を行えることなどメリットを感じていただけるよう情報発信に努めていきます。
4	小規模多機能型居宅介護の業者の公募の方法がどうなっているのか。現在の参入業者の状況は。	今のところ公募は行っておりません。運営は町の指定管理者制度の活用を予定しており、事業者の募集方法については検討中です。
5	新型コロナ感染症対策のために購入した、2台の自動車の稼働状況はどうですか。	新型コロナ感染者の緊急時送迎用に健康管理担当が購入した自動車は、今のところ稼働実績はありません。
6	新型コロナ感染症対策のために購入した空気を入れるテントの稼働状況はどうですか。	緊急時用に自治防災担当が購入したエアテントは、今のところ稼働実績はありません。
7	新型コロナが蔓延しはじめてから2年経過し、3年目になります。それ以前の生活とは一変し、コロナ禍での生活が当たり前になってきていると感じます。外出を控えたり、生活様式の変化による高齢者への影響についてどのように捉えていますか。	介護予防の点からは、いきいき百歳体操の体力測定結果を分析すると、参加者の体力は維持できている一方で、他者との交流の機会が減っていると感じている方がいらっしゃいます。また、包括への介護相談も増えており、コロナ禍が及ぼす影響の現れと感じています。

8	<p>(新型コロナが) 能勢町の介護認定の認定率への影響があるのではないかと考えるがどうですか。</p>	<p>コロナ禍において介護認定率は17%台で大きな増減なく推移していますが、介護となる認定者(要介護1～要介護5)の割合が増加傾向にあります。コロナ禍による影響かどうか詳細の分析は行っていませんが、今後介護予防・重度化防止に向けた取組をより一層推進する必要があると考えます。</p>
9	<p>新型コロナ感染症予防のため様々な会議や事業の中止が余儀なくされていると思います。違う形で開催できるよう考えていく必要があるのではないのでしょうか。</p>	<p>高齢者の方々にとって身近な、いきいき百歳体操が中止されたり、今後も影響は続くと思われま。会議開催についても、昨今はネットを介して行われるなどしています。こうしたデジタル技術をうまく活用した新たな支援策を検討していく必要があると考えます。</p>
10	<p>沢山の詳細な資料等の送付有難うございました。厚生労働省が提供する「見える化」システム活用にも益々期待します。</p> <p>より良い策定・実行の先にある、それぞれの事業における現場の状況や問題点の把握も重要と考えます。</p> <p>◎どんな支援事業にも「会議」が行われます。出席者の中にはさまざまな関係機関の集まる中、職種、立場、関係なく発言できる雰囲気作り、当たり前、知ってるはず！何で！どうして？変更？など・・・少し違った事、思った事の発言で何となく居づらく、苦しい雰囲気、対象者、利用者様に一番接触率の高い支援者、ヘルパーの声が届きにくい。誰の為の会議？もっと、もっと開かれた会議であってほしい。</p> <p>現場の声、開かれた雰囲気での会議の見直しこそが今後の高齢化に向けて「現場の見える化」作りかも。</p>	<p>本委員会が介護保険事業の根幹を担う会議として、皆様現場の実情や思い、ご提案などいただきながら、様々な形で行政による環境づくり、後方支援など取り組んでいくべきと考えています。</p>